

# 富良野広域連合議会 第2回定例会を開催

平成23年富良野広域連合議会第2回定例会が、10月27日に開催されました。本定例会では、議案4件（予算1件、報告2件、人事1件）、認定1件（平成22年度一般会計決算認定）が、それぞれ可決・認定されました。

任期満了に伴う教育委員会委員には、中野守氏（中富良野町教育委員会委員）が再任されました。

一般質問は一名で、木村一俊議員（占冠村）から「学校給食について」教育長に対し行われました。

また、総務産業委員会から閉会中の継続調査として「消防施設整備（デジタル化と高機能指令センター）」についての事務調査を決定し閉会しました。

可決・認定された案件は、次のとおりです。

- 議案
- 議案第1号  
平成23年度富良野広域連合一般会計補正予算（第5号）  
歳入歳出それぞれ12,352千円を追加  
《主な歳入補正》  
・市町村負担金減 △12,338千円

- ・繰越金増 22,868千円
- ・雑入増（石勝線トンネル事故対応経費負担金等） 508千円
- ・過年度収入増（過年度国庫負担金） 716千円
- ・消防費国庫負担金増（緊急消防援助隊活動費負担金） 598千円
- 《主な歳出補正》
- ・消防本部費減（緊急消防援助隊経費等） △5,081千円
- ・富良野消防署費減（一般職給料等） △5,080千円
- ・占冠支支費増（各種手当等） 662千円
- ・富良野消防団費増（北海道市町村総合事務組合負担金等） 4,156千円
- ・上富良野消防団費増（北海道市町村総合事務組合負担金） 1,235千円
- ・中富良野消防団費増（北海道市町村総合事務組合負担金） 1,237千円
- ・南富良野消防団費増（北海道市町村総合事務組合負担金等） 1,819千円
- ・占冠消防団費増（北海道市町村総

- 合事務組合負担金等） 1,451千円
- ・富良野施設費増（器具購入費等） 877千円
- ・中富良野施設費増（防火水槽撤去工事費） 9,587千円
- ・占冠施設費増（器具購入費等） 1,736千円

○議案第2号  
富良野広域連合教育委員会委員の任命について  
・中野守氏（中富良野町教育委員会委員）の任命に同意

■認定  
○認定第1号  
平成22年度富良野広域連合一般会計歳入歳出決算の認定について

○報告  
■報告  
○報告第1号  
専決処分報告について（平成23年度富良野広域連合一般会計補正予算第4号）

- ・歳入 雑入増（自動車損害共済金） 246千円
- ・歳出 上富良野消防署費増（車両修繕料・賠償金） 246千円
- 報告第2号  
専決処分報告について（自動車事故の損害賠償）

## 富良野広域連合議会構成 （平成23年10月27日現在）

- 議長 安井 士八（中富良野町）
- 副議長 長谷川 耿聰（占冠村）
- 監査委員（議選） 伊藤 健（南富良野町）
- 総務産業委員会  
委員長 本間 敏行（富良野市）  
副委員長 村上 和子（上富良野町）  
委員 谷 忠（上富良野町）  
委員 宮下 登（中富良野町）  
委員 酒井 年夫（南富良野町）  
委員 伊藤 健（南富良野町）  
委員 小峰 義雄（占冠村）
- 文教環境委員会  
委員長 川村 勝彦（南富良野町）  
副委員長 北條 隆光（中富良野町）  
委員 萩原 弘之（富良野市）  
委員 岡本 俊（富良野市）  
委員 中村 有秀（上富良野町）  
委員 長谷川 耿聰（占冠村）  
委員 木村 一俊（占冠村）
- 議会運営委員会  
委員長 酒井 年夫（南富良野町）  
副委員長 中村 有秀（上富良野町）  
委員 岡本 俊（富良野市）  
委員 宮下 登（中富良野町）  
委員 小峰 義雄（占冠村）

## 旭日双光章（地方自治功労）を受章

### 鈴木政勝さん（落合）



永年にわたり町議会議員として尽力された鈴木政勝さん（落合）が秋の叙勲（旭日双光章）を受章され、11月4日札幌市内のホテルにおいて高橋はるみ北海道知事から伝達されました。

鈴木さんは、昭和50年5月から今年4月までの9期36年の永きにわたり町議会議員を務め、産業常任委員長や総務常任委員長などを歴任されたほか平成3年から1期4年間議長を務められました。

また、平成元年のはまなす国体カヌー競技を本町で開催するにあたり、はまなす国体南富良野町特別委員会委員長も務められ、国体の成功や国体が縁で交流を深めている沖縄県本部町との交流にも尽力されました。

その他、林業労働者として全国

山林労働組合の北海道本部執行委員長や中央本部書記長や執行委員長も務められました。

これまでも、北海道知事表彰や全国町村議会議長会長特別表彰などを受賞されており、この度の栄誉は、こうした永年の功績が高く評価されたものであります。

鈴木さんは、この度の受章に、「大変嬉しく感謝しています。地域の皆さんや昨年亡くなった妻に支えられてここまで責務を遂行することができました。皆様に感謝しています」と述べられました。



まちの話題・出来事  
（功労者表彰）

まちの話題・出来事  
（功労者表彰）

まちの話題・出来事  
（まちの除雪）

まちの話題・出来事  
（広域連合議会）

カメラレポート

教育委員会通信

こんにちは  
保健師です

## シリーズ 学校だより ①07

各学校の取り組みを紹介します。

### ▶▶金山小学校▶▶▶



学芸会  
10月8日（土）、学芸会が行われました。本校の学芸会では、子どもたちは大忙しです。1・2年生は、開会の言葉、学級発表、全校音楽、全校劇と4つも出演します。4年生は3つで、5・6年生は閉会の言葉がありますので4つです。ですから、9時から11時30分までの2時間半は、全員ほほほ出ずっぱりの状態です。

全校音楽や全校劇でも、低学年だから簡単にするということがありません。上級生と同じことが要求されます。でも、驚くことに低学年でも、その要求にちゃんと応えるのです。



こういう本校の学芸会を見ていると、子どもって、ただ大人より人生の時間が短いだけで、持っている能力は大人と変わらないと思うのです。人権を尊重し可能性を信じて、丁寧に繰り返し教えれば、たいていのことは、できる力を子どもは持っていると思えます。

同時に、子どもも自分の持っている可能性を自覚してほしいと願うのです。行動し考えて自分の意志を大人に対して、しっかりと表明してほしいと願うのです。大人も子どもも「子ども」を一人前扱いにすることによって、子どもはどんな力を発揮するんだと、金山小学校の学芸会から感じました。